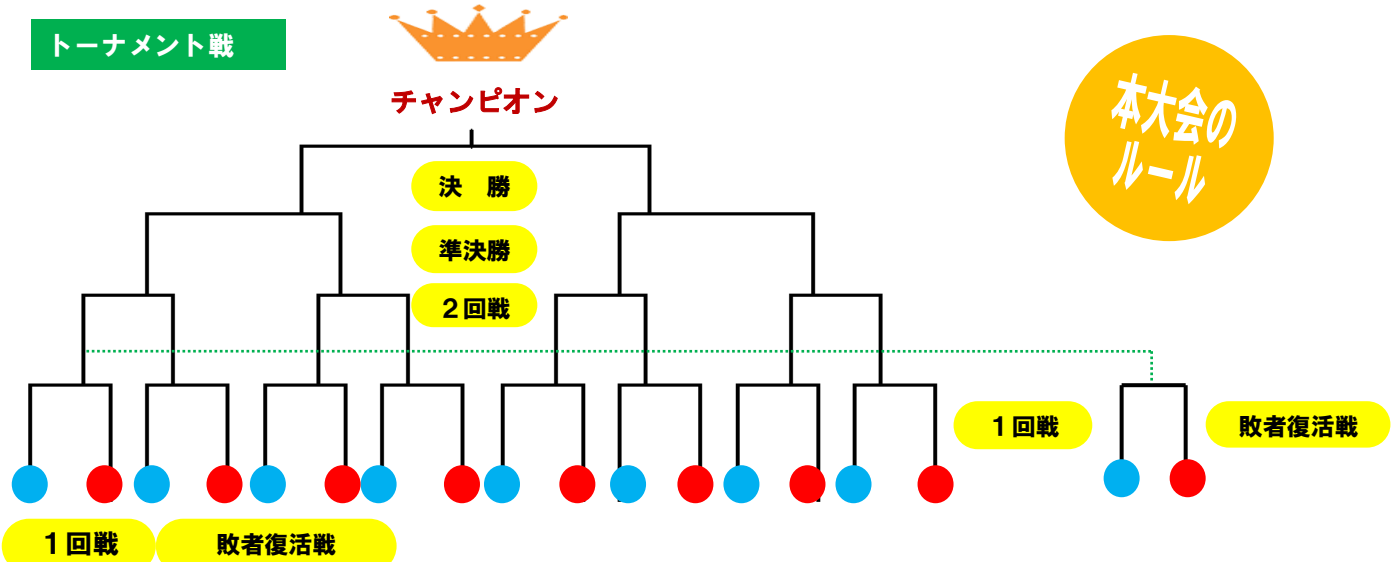


## トーナメント戦



### 1回戦

### 敗者復活戦

先攻青コーナーの選手が3分以内で朗読をします。

次に後攻赤コーナーの選手が同様に朗読します。

楽器演奏、BGMは使用できませんが小道具は使用できます。リング外での朗読は禁止です。3分を経過すると終了ゴングになります。その場合、朗読が途中でやめなければなりません。

青・赤両選手の朗読後、ジャッジによる判定を行います。

7名のジャッジの多くの支持を得た選手が勝ち上がります。

1回戦の敗者の中から観客の投票によって選ばれた選手1人と、勝者の中の選手1人で敗者復活戦を行い、その勝者が2回戦へ進みます。

### 2回戦

### 準決勝

2回戦、準決勝とも1回戦と同じルールで試合を行います。敗者復活戦はありません。

### 決勝

決勝戦は2ラウンド制で行います。(準決勝までは1ラウンド制・朗読1回)

・第1ラウンド→選手が自分で用意した作品の朗読

・第2ラウンド→ジャッジから提示された「お題」に従って即興で朗読

「お題」は2人の選手にそれぞれ違ったテーマが出題されます。2ラウンドの朗読が終わると、ジャッジの判定を受け、より多くの支持を得た選手がチャンピオンとなります。

チャンピオンには賞状と地元鈴鹿の彫刻家、三村力氏作のトロフィーが贈られます。

## 全国大会出場者の選考

トーナメント戦を総合的に見て、「みえ大会」の代表として全国大会出場にふさわしい選手をジャッジにより16名全員の中から1名選びます。(チャンピオンが選ばれる場合もその他の選手が選ばれる場合もあります。)全国大会出場者には日本朗読ボクシング協会から全国大会出場認定書、財団法人鈴鹿市文化振興事業団から副賞3万円(旅行券)が贈られます。

## ジャッジ

- 楠かつのり (日本朗読ボクシング協会代表)
- 河原徳子 (朗読文学サークル「パティオ」主宰・近代日本文学研究家)
- 嶋かをり (特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿理事長)
- 新田みかん (尺八演奏家)
- 松谷行成 (有楽堂店主・山の寺小屋風の子塾主宰)
- 山野耕治 (写真家)
- 吉永ケイト (第17回鈴鹿市文芸賞散文の部最優秀賞受賞者)

## レフェリー

松本きりり (川柳家・詩のボクシング全国大会3回出場)

## リングアナウンサー

ニシムラタツヤ (俳優・声とインプロ「AfroWagen」代表)

(※氏名は敬称略、順不同)

